

まちの声 VOL57



豊北
吉田水十華さん

(写真左:夫:和生さん)

浦幌町の豊北で牧場をはじめ、あと少しで4年になるとうとしていきます。夫と2人で毎日泣き笑いしながら牛乳を搾っています。

浦幌町で新規就農するにあたって、本当にたくさんの方々に世話になったのがお金の問題で貯えのあまりない私たちが牧場をはじめることができたのも、国や町の助成、農協や周りの方々のバックアップがあったお陰です。

酪農をはじめるのは元手がかかるもので、牛と設備と必要最低限の機械を揃えなければ成り立ちません。毎日牛が食べる

「一人前の牛飼いへ、仲間の思いとともに」

餌の準備もあります。当たり前のことですが、仔牛が産まれないと牛乳は出ません。そして、仔牛が成長して種付けをして親牛になるまでに2年ばかりかかります。新規就農してまだまだ3年。「一人前の牛飼い」と自信をもつて言えるまでの道のりは長いです。

自分達と同じ時期に新規就農を希望する仲間が何組かいました。就農希望地はばらばらでしたが、個々に環境や条件が違い、結局就農できたのは、自分達だけでした。仲間たちの悔しい思いも含め、自分達は頑張つてやっていかなければいけないと思つています。

また、酪農情勢も厳しくなり、高齢化も進んで酪農家の戸数は年々減少しています。酪農に限らず、何かやりたいと思つている人はどこにだっているはずですが、栄えた町にして行くために、そういう人達を育て、成功しやすい環境や制度を充実させた町にして行くことを望んでいます。

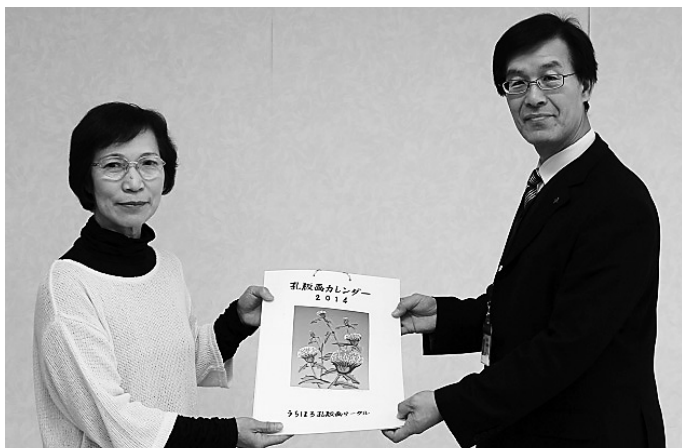
3月議会までに

「こんな調査をします」

○議会運営委員会

- ・議会の運営に関する事項
- ・議会の会議規則等に関する事項
- ・議長の諮問に関する事項
- 【議会の活性化について】継続

- ・議会の広聴に関する事項
- 総務文教厚生常任委員会
- ・社会教育の現状



うらほろ孔版画サークル会長の小山妙子さんから2014年のカレンダーを寄贈していただきました

編集後記

平成25年第4回(12月)定例会の日曜議会に町民の皆さんの傍聴をいただきありがとうございます。

6名の一般質問が行われ、町に対するわが町の一次産業への取り組み、財政運営の考え方、医療制度等、数多くの質問がされました。

平成26年2月には、議会報告会を開催します。議会自ら足を運び、直接町民の皆様と意見交換し、議会が持つ機能を高め、町民の皆さんとの距離を縮める有意義な機会にしたいと考えています。ぜひ、お越し下さい。

平成26年も引き続き、議会の活性化に向けて活動を進めてまいります。

(高橋利一)

発行・編集責任者

議会議長 田村寛邦

編集特別委員会

委員長 森 秀幸

副委員長 二瓶 隆

委員 関井雅明

委員 安藤忠司

委員 杉江 博

委員 高橋利一

編集 浦幌町議会広報編集特別委員会

発行 浦幌町議会 E-mail:gikai@urahoro.jp

〒089-5692 北海道十勝郡浦幌町字桜町15番地6

☎015-576-2119(直通) Fax015-576-5570